



# 昭和大学歯学部だより

2024年4・5月号

通算第228号

## 巻頭言－不易流行－

＜歯学部長 馬場 一美＞



不易流行(ふえきりゅうこう)とは松尾 芭蕉が「奥の細道」の旅をする中で体得した理念の一つだと言われています。「不易」は、いくら世の中が変わっても変わらないもの、変えてはいけないもの、「流行」とは世の中の変化とともに変わっていくものという意味です。1990年代に普及したインターネットを端緒としてソフト、ハードの劇的な進化を背景に今ではAIが社会を変えようとしています。しかし、こうした変化が人々の生活を豊かにすることを目的に使われるべきであるという基本的な理念は決して変わりません。自立型AIに対する懸念、いわゆるAI脅威論も指摘されていますが、真にAIが人間社会に浸透し、人と共生する関係となるための道筋がつけられることもそう遠くないでしょう。歯科医療にもAIをはじめとした様々なデジタル技術が最大限活用され驚くべきスピードで変化しています。しかし歯科医学の目的が人類の健康増進への貢献であることは決して変わりません。

## 入学式が挙行されました

＜歯学部長 馬場 一美＞

令和6年4月7日に本年度の入学式が明治神宮会館にて行われました。本年度の歯学部は99名の新入学生と2名の編入学生を迎えました。ちなみに、医学部は129名、薬学部208名、保健医療学部170名です。式典では昭和大学管弦楽団の演奏に引き続き、久光学長の告示、小口理事長からの祝辞、そして昭和大学宣言、校歌斉唱が行われました。その後、新入生歓迎プログラムがあり在校生からの歓迎の言葉、Medical all-stars jazz orchestraによる演奏があり、締めくくりに応援指導部からエールが送られました。

閉会后、新入学生はバスに分乗し富士吉田へ向かい、本学の学生として最初の一步を踏み出しました。すべての新入学生が素晴らしい学生生活を送れるように祈念しております。



- P.1 【巻頭言】歯学部長 馬場 一美 教授  
【入学式が挙行されました】歯学部長 馬場 一美 教授
- P.2 【大学院入学式が挙行されました】歯学研究科長 高見 正道 教授  
【白衣授与式が執り行われました】教育委員長 船津 敬弘 教授  
【第56回 オールデンタル冬季スポーツ大会で入賞しました】歯学部3年生 川島 由芽 さん
- P.3 【教授就任のご挨拶】歯内治療学部門 鈴木 規元 教授  
【教授就任のご挨拶】インプラント歯科学講座 宗像 源博 教授  
【診療科長就任のご挨拶】総合内科学部門 安藤 浩一 准教授  
【行事予定】【採用】広報委員長 柴田 陽 教授
- P.4 【上條賞を受賞しました】令和5年度受賞者 中林 朱音 先生  
【上條賞(大学院)を受賞しました】令和5年度受賞者 大島 絵莉 先生  
【文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞しました】口腔病理学部門 田中 準一 准教授

## 大学院入学式が挙行されました

<歯学研究科長 高見 正道>



令和6年4月6日午前10時より、昭和大学大学院入学式が上條記念館において挙行され、医学研究科40名、歯学研究科22名、薬学研究科23名、保健医療学研究科21名が入学しました。

研究科長の挨拶で私は、「大学を卒業してもなお、学問を継続しようとするみなさんの姿勢は立派である。『青は藍より出て藍より青し』という言葉があり、弟子が師匠を超えるほど成長する例えとして今は使われているが、元は、荀子が学問を継続することはとても大切であることを説いたことに由来している。その志を大切にしながら大学院で修行してほしい」と述べました。

式の後、新入生は上條ミュージアムを見学し、オリエンテーションでは、美島大学院運営委員長が心構えなどについて話されました。新入生のみなさんを心から歓迎するとともに、これからのご健闘を祈っています。

## 白衣授与式が執り行われました

<教育委員長 船津 敬弘>



3月26日に上條記念館において5年生への白衣授与式が執り行われました。馬場歯学部長からは、実習に協力いただく患者さんへの感謝の気持ちを常に持って実習に取り組んでほしいとの告示があり、そのあと92名の学生は、8名の歯科病院診療科長より手渡された白衣を着用して式が進められました。久光学長から臨床では「百聞は一見に如かず」であり、さらに「百見は一動に如かず」であるから、大いに実習に励んでほしいことを、小口理事長からは社会に貢献できる歯科医師になってほしいとのお話しがあり、学生たちは臨床実習への気持ちを新たにしているようでした。学生諸君には健康に留意して、実りある一年を過ごしていただきたいと存じます。

3月26日に上條記念館において5年生への白衣授与式が執り行われました。馬場歯学部長からは、実習に協力いただく患者さんへの感謝の気持ちを常に持って実習に取り組んでほしいとの告示があり、そのあと92名の学生は、8名の歯科病院診療科長より手渡された白衣を着用して式が進められました。久光学長から臨床では「百聞は一見に如かず」であり、さらに「百見は一動に如かず」であるから、大いに実習に励んでほしいことを、小口理事長からは社会に貢献できる歯科医師になってほしいとのお話しがあり、学生たちは臨床実習への気持ちを新たにしているようでした。学生諸君には健康に留意して、実りある一年を過ごしていただきたいと存じます。

## 第56回 オールデンタル冬季スポーツ大会で

## 入賞しました

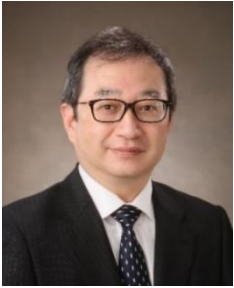
<歯学部スキ一部 川島 由芽>

2024年3月22日-24日に北海道の朝里川温泉スキー場で全日本歯科学生大会スキ一部門が開催されました。大会結果は3年生の川島 由芽が個人総合で3位、3種目で入賞しました。また、昭和大学歯学部スキ一部としては、女子団体5位、男女総合8位の成績を収めました。競技スキーを始めて日が浅い男子部員も総合順位に貢献し、今回出走した部員全員が完走しました。次の大会では、さらなる高みを目指して精進していきます。歯学部スキ一部は一昨年まで部員が3人ほどしかいませんでしたが、現在は30人を超えるほどに増えています。第57回オールデンタルでは大会主管校を務めるので、さらに盛り上げていきたいと思っております。



## 教授就任のご挨拶

＜歯内治療学部門 鈴木 規元＞



本年4月より、歯科保存学講座歯内治療学部門の教授に就任いたしました。教授という重責に、日々身の引き締まる思いで診療・教育・研究業務にあたっております。平成28年に昭和大学に赴任して以来、早いもので8年が過ぎてしまいました。この間、多くの先生方から多大なるお力添えをいただき、なんとか無事に医局を運営して参ることができました。先生方皆様のお陰と大変感謝いたしております。赴任当初は医局員が6人しかおりませんでした。毎年大学院生や教員として入局してくれる人が増え、現在では19人にまでなりました。日々の臨床をさらに充実させていくことはもちろんですが、研究面にも注力し、特色のある講座づくりを目指していきたいと考えております。今後ともご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 教授就任のご挨拶

＜インプラント歯科学講座 宗像 源博＞



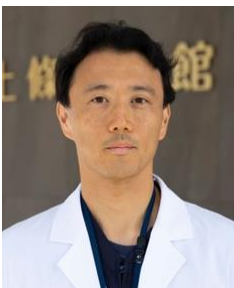
このたび、2024年4月1日よりインプラント歯科学講座の教授を拝命いたしました宗像 源博と申します。私は1999年に卒業後、2006年に山梨大学医学部、2013年に神奈川歯科大学にて研鑽を重ねまして、2018年より昭和大学歯学部インプラント歯科学講座に准教授として着任、診療と教育・研究に努めてまいりました。

これからも、国民のみなさまに対しては、インプラント治療を正しく理解して頂く活動が続けながら、専門性の高いインプラントのスペシャリストを少しでも多く育成・輩出していきたいと考えております。さらに、研究面でも先進的な臨床研究を推進しまして、「量」の面だけでなく、「質」の面でも日本一のインプラント歯科学講座を目指していく所存でございます。

今後ともご指導とご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

## 診療科長就任のご挨拶

＜総合内科学部門 安藤 浩一＞



本年4月1日より、内科クリニックの診療科長を拝命いたしました。内科クリニックでは、「チーム医療」の考え方にに基づき、歯科診療を医科の立場からさまざまな場面でサポートしています。主に内科領域の疾患や症状に対応しており、禁煙外来や発熱外来、アレルギー免疫療法や在宅酸素療法などを行う他、生活習慣病に対しては治療計画に基づいた生活習慣の指導管理やカウンセリングなどにも取り組んでいます。4月1日からは、菅沼 宏充医師(医学部内科学講座呼吸器・アレルギー内科学部門)が新たに外来担当医に加わりました。今後とも受診される皆様が安心して診療が受けられる環境づくりに配慮してまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

## 行事予定

6月2日(日)学祖祭, 6月8日(土)父兄会, 7月20日(土)歯学部入試説明会

## 採用

日本学術振興会 特別研究員(DC2), 高橋 夏大(医科歯科連携診療歯科学分野 大学院生)

## 上條賞を受賞しました

＜令和5年度受賞者 中林 朱音＞

この度は上條賞という名誉ある賞を頂き、誠に光栄に思います。このような賞を頂くことができたのは、素晴らしい講義や十分に学べる環境を与えてくださった先生方、勉強に専念できるよう支援してくれた家族、そして国試対策委員を始めとする友人達の支えがあったからだと感じております。この場をお借りして心から感謝申し上げます。

現在私は昭和大学歯科病院の歯周病科で臨床研修をしております。尊敬する先生方の元での研修は刺激的で、早く成長したいと思う毎日です。

今後は、歯科医師として多くの患者さんに信頼されるよう、精一杯精進して参りたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



## 上條賞(大学院)を受賞しました

＜令和5年度受賞者 大島 絵莉＞



この度、上條賞という名誉ある賞を賜り大変光栄に存じます。ご指導いただきました代田 達夫教授をはじめとする口腔外科学講座の先生方、日本大学歯学部生理学講座の先生方にこの場をお借りして、心より御礼申し上げます。学位論文は「M2マクロファージ由来カテプシンSは線維芽細胞-シュワン細胞シグナルリレーを介して神経再生を促進する」というテーマで、これまでに報告のなかった、マクロファージ特異的分子であるカテプシンSが神経再生に寄与することを明らかにしました。今後も新規再生因子の同定や、神経再生後にも持続する難治性疼痛への治療開発の研究を継続し、微力ながら医学の発展に貢献していきたいと存じます。

## 文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞しました

＜口腔病理学部門 田中 準一＞



このたび文部科学大臣表彰 若手科学者賞を受賞し、4月17日に文部科学省庁舎にて授賞式が行われました。受賞対象業績は「唾液腺新規治療法開発の研究」で、私が口腔病理学部門で大学院生として美島 健二教授のもと研究を開始してから現在まで一貫して行ってきた研究です。同賞は独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた若手研究者が対象となっており、このような名誉ある賞を授与いただき大変光栄に存じます。本賞の受賞にあたってご推薦いただいた、当部門の美島 健二教授、馬場 一美歯学部長、大庭 伸介教授(大阪大学)、岡野 栄之教授(慶応大学)、そして私の研究活動に当たり多くのご指導とご助力をいただいた学内外の共同研究者の皆様にも心より感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算228号 2024年5月発行

発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽

4・5月号編集委員：唐川 亜希子(広報委員会)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000

ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp